



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区協会の活動紹介

(浜松東地区・富士地区・静岡中央地区)

「交通死亡事故現場診断」を実施！（4月中）

浜松東、富士、静岡中央地区安全運転管理協会は、それぞれの地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この4月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの対策等を協議しました。

【浜松東地区】

4月18日(木)、浜松東警察署、浜松市南区役所、交通安全協会、地元自治会の関係団体とともに、浜松東地区安全運転管理協会から役員や付近事業所の安全運転管理者局長等が参加して、合計約40人により

4月13日(土)深夜、浜松市南区米津町地先の市道で発生した交通死亡事故（軽四乗用車と歩行者との衝突事故、歩行者中の50歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は深夜の時間帯に発生しており、現場診断で協議した結果、

- 街灯の設置や路側帯に発光式のマーカー等を設置する。
- 歩行者を早期発見するため、夜間ハイビームの徹底を啓発する。

など交通死亡事故の再発防止対策に関する意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【現場診断、対策協議のようす】

【富士地区】 2件

4月12日(金)、富士警察署の呼掛けで、富士市役所、交通安全協会富士地区支部等の関係団体及び富士地区安全運転管理協会から会長ら役員や付近事業所安全運転管理者など合計60人が参加し、

① 4月2日(火) 富士市厚原地先の県道で発生した交通死亡事故
(大型貨物車と横転の軽四乗用車との衝突事故、軽四乗車の男女3人が死亡)

② 4月4日(木) 富士市荒田島町地先の市道で発生した交通死亡事故
(普通乗用車と横断歩道の歩行者との衝突事故、歩行者の80歳男性が死亡)
と相次いで発生した2件の交通死亡事故について現場診断を行いました。

特に1件目の死亡事故については、一度に3人の方が亡くなったため、参加者の再発防止対策への関心が高く、

○ 路面のカラー舗装や路側標示、カーブミラー補修等道路環境を整備する。

○ ドライバーや付近住民への注意喚起など交通安全広報、啓発を推進する。

など、ハード・ソフト両面の事故防止対策に関して積極的な意見が出されました。



【1件目の現場診断・再発防止検討会】



【2件目の現場診断・再発防止検討会】

【静岡中央地区】

4月24日(水)静岡中央警察署の呼掛けで、静岡市葵区役所、交通安全協会静岡中央地区支部等関係団体及び静岡中央地区安全運転管理協会から会長ほか役員や付近事業所の安全運転管理者など合計28人が参加して、

4月6日(土)静岡市葵区豊地の主要地方道で発生した交通死亡事故(道路横断中の自転車と左折の大型貨物車の衝突事故、自転車の高校生が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は大型車等交通量の多い交差点で、事故現場診断の参加者から

- 交差点における横断歩道や隅切りの位置を変更するよう検討する。
- 交差点の信号機を歩車分離型にしたらどうか。
- 車両ドライバーのみでなく、横断歩行者等にも安全通行を啓発する。

など、事故防止対策について活発な意見が出されました。

【事故現場診断】



【再発防止対策を協議】